



マガン(成鳥18羽)の初飛来が9月12日に確認されました。昨年より1日早く例年より8日早い飛来でした。

Vol.124
令和2年度10月号

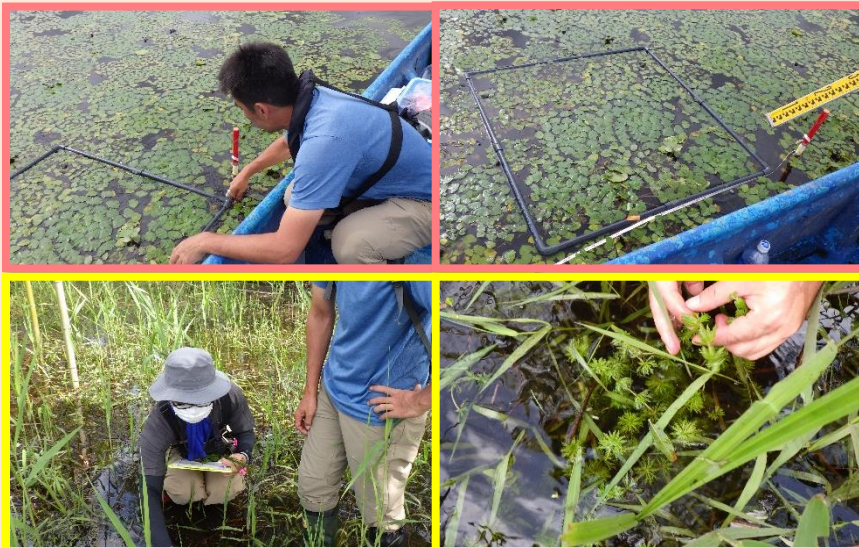
— ロボットボートによるヒシ刈りを実施しました —

近年湖沼や河川において、ヒシの異常繁茂が報告されており、伊豆沼・内沼も例外ではありません。ヒシが茂りすぎると、①水中の酸素不足による水生生物の減少、②船の航行の阻害、③治水・利水施設への影響などが懸念されます。そこで、これまでハス群落の抑制に用いられてきたノウハウを、ヒシの刈り取りに応用するための実験が、8月27日から30日にかけて伊豆沼において行われました。人力では大変苦勞するヒシの刈り取りですが、ロボットボートを用いることで、1分間に18㎡以上のペースでヒシを刈り取ることができました。刈り取ったヒシの処分をどうするかという課題はありますが、刈り取る時期を早めてヒシを茂りにくくする等の工夫によって、より効率的なヒシ群落の抑制が今後期待できます。

無人で刈り取っています！



— 100年後の伊豆沼は・・・？ —



100年後の日本の自然環境はどうなっているのでしょうか？そんな長期的な視点に立った環境省の事業が、伊豆沼・内沼で行われています。

5年ごとに魚類や水生植物をモニタリングし、気候変動や環境保全活動の影響・効果を100年間評価していく事業です。今回は2回目の調査。水生植物の専門家が各地から集まって、沼の水生植物を調査しました。5年前と比較すると、ハスのように増加した植物もあれば、姿を消した水草もありました。結果はこれから分析され、環境省HPなどで公開される予定です。

— 自然体験講座参加者募集 —

ガンの飛び立ち観察会 &ラムサール湿地見学ツアー

朝のマガンの飛び立ちを観察します。ラムサール登録湿地の蕪栗沼や化女沼でも観察会を行います。

第2回 11/8 (日) 5:30~12:00

第3回 11/21 (土) 5:30~12:00



ガンの飛び立ち観察会 &沼歩き探鳥会

冬は渡り鳥の数がピークになります。沼のまわりを歩きながら鳥を身近に観察しましょう。

第4回 12/13(日) 6:00~10:00

第5回 1/9 (土) 6:00~10:00

対象は小学生以上（小学生は保護者同伴）。定員は各回20人申込先着順。参加費（当日）1人1,000円（朝食・保険代）。持ち物は履きなれた靴あるいは長靴、防寒着、マスク。集合場所は宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター（鳥館）。観察場所まで無料送迎します。

◆お申し込み、お問い合わせは宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターまで電話、またはメールにて

— 若柳小学校3年生が校外学習に —

コロナ禍ではありますが、感染対策に留意しつつ、団体来館者の利用制限を緩和しています。8月25、27日には若柳小学校3年生101名がクラスごとに分かれて来館し、伊豆沼の勉強をしました。久しぶりに子供たちの賑やかな声を聞くことができました。



— 花山青少年自然の家の事業でも —

栗原市や大崎市の子どもたち約30人が、伊豆沼で生きもの採集にチャレンジしました。夏の暑さも少し和らぎ、動きやすい天候の中、水生昆虫や魚介類を捕まえるなど、子どもたちは楽しいひと時を過ごしていました。



みんなも来てね。



— 伊豆沼・内沼生き物図鑑（伊豆沼・内沼を賑わす秋の虫たち） —

猛暑がひと段落しセミの鳴き声が静まると、原野は秋の虫たちの鳴き声で賑やかになります。伊豆沼・内沼周辺は、冬の寒さのためスズムシやマツムシといった有名な虫たちは分布していません。しかし、クズの草むらには薄緑色が美しいカンタンというコオロギの一種がたくさん住んでおり、夕方には一斉に美声を響かせます。また、ススキやササの草むらを探せば、ササキリやクサキリ、ヒメギスなどのキリギリスの仲間が、一生懸命鳴いている姿を見ることができます。伊豆沼の北岸には歩道が整備されていますので、ぜひ賑やかな虫の音に伊豆沼へいらしてください。



ササキリ



カンタン

